



平成 27 年 7 月 29 日
国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所

お知らせ

安全は何よりも優先される！

～「三河港湾事務所 工事安全大会」を実施しました～

7月22日(水)、中部地方整備局三河港湾事務所は、「工事安全大会」を半田市内に於いて開催いたしました。

大会には、三河港・衣浦港において直轄(国)の工事を担当する3社と協力会社、講師、発注者の計47名が参加しました。

国土交通省港湾空港関係の直轄工事においては、沖ノ鳥島で発生した重大死亡事故を受けて事故防止対策の強化を図ってきましたが、平成26年度においても工事事故が多発しております。

港湾工事における安全対策の充実、安全意識の向上、安全管理のより一層の徹底を図り、『無事故・無災害の港づくり』の現場にすることを目的として、発注者、三河港及び衣浦港の直轄港湾工事受注者を一堂に集めて、「工事安全大会」を下記のとおり開催いたしました。

■大会内容：別紙1

■写真、各社の安全標語（スローガン）：別紙2

●配布先

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、豊橋市政記者会、半田記者クラブ、碧南記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

●問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所

前任建設管理官 服部（はっとり）

Tel 0532-32-3251

Fax 0532-32-5049

7月22日(水)、中部地方整備局三河港湾事務所は、「工事安全大会」を半田市内に於いて開催いたしました。

大会には、三河港・衣浦港において直轄(国)の工事を担当する3社と協力会社及び講師、発注者の計47名が参加しました。

国土交通省港湾局の直轄港湾工事において、平成26年3月に沖の鳥島にて7名の方の尊い命が失われるという、これまで経験した事のないような重大事故が発生し、この事故も踏まえ平成26年度に工事事故防止対策の強化を図ってきましたが、工事事故が多発している状況が続いています。

港湾工事における安全対策の充実、安全意識の向上、安全管理のより一層の徹底を図り、『無事故・無災害の港づくり』の現場にすることを目的に開催しました。

大会では、発注者を代表し、三河港湾事務所・老平副所長(鈴木所長代理)から『安全は何よりも優先されたいとの思いで事業を進めている。工事事故はあってはならないものであり、その被害を受ける個人及び家族に計り知れない損害をもたらす、社会的にも多大な影響を及ぼす。この大会を実のあるものとして頂き、さらなる災害防止の意識向上に努めて頂きたい』との挨拶を行いました。

最初の講演として、厚生労働省愛知労働局・半田労働基準監督署安全衛生課の村田課長から、『労働災害防止対策の徹底と改正された労働安全衛生規則の内容』と題し、この7月から施行される「足場からの墜落防止対策の強化」や「労災かくしは犯罪」などに関するお話がありました。

次の講演では、海上保安庁衣浦海上保安署・山本署員から、『海上作業における注意事項について』と題し、「海難事故の具体的事故事例」や「大型船の視覚と視野の特性」などに関する説明を受けました。

最後に、中部地方整備局港湾空港部港湾空港整備・補償課の牛場課長補佐から、『中部地方整備局管内で発生した港湾工事関係の事故事例を踏まえた事故防止のポイント』に関する講話があり、「当日の急な段取りの変更時に事故が発生し易く、現場巡視の充実やヒューマンエラー対策が重要」などを強調されました。

現場の安全対策の発表として、工事を担当する3社より自社の「安全標語(スローガン)」の紹介と無事故・無災害に向けた具体的な安全対策の取り組み等の発表を行いました。

大会の最後に、作業員代表の(株)愛知 マグマ・職長の小松さんが『最後までゼロ災害でがんばろう』の唱和を行い、参加者全員の「おおー」のかけ声で、工事事故撲滅・安全意識向上を参加者全員で誓い合いました。

別紙2



「工事安全大会」の開催状況



発注者を代表し、挨拶する老平副所長



講演される愛知労働局半田労働基準監督署 村田課長



講演される衣浦海上保安署 山本署員



講話する 港湾空港・整備課牛場課長補佐



(株)愛知マグマ・職長、小松さんの唱和で「工事事故撲滅」を確認

平成27年度工事・各社安全スローガン

三河港神野地区岸壁(-12m)本体工事(その2)
あおみ建設(株)

『ものづくり中部を支え 暮らしの安全安心を確保する』

衣浦港外港地区西防波堤(改良)築造工事
徳倉建設(株)

『ゼロ災は 現場みんなのキーワード 達成しよう無事故・無災害!』

衣浦港外港地区航路(-12m)浚渫工事
東海建設(株)

『0災害を目指し点検を実施し日々の作業改善に努めよう!』